



トマト編

病害虫注意報 2020年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します！

おすすめ防除

黄化葉巻の主な感染時期は育苗期後半から生育初期です。
粒剤や黄色粘着板等を活用してコナジラミ防除をしていきましょう！



対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数	
					ミツバチ	マルハナ
カメシジミ類・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤	2,000~3,000倍 (カメシジミ類2,000倍)	前日	2回	14日	14日以上
コナジラミ類・ハモグリバエ類 アザミウマ類・オオバコガ ハスモンヨトウ	カウンター乳剤	2,000~3,000倍 (ハモグリバエ類・アザミウマ類 は2,000倍)	1番花の 開花まで	4回	1日	
コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類 クハネコバエ類	ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍 (クハネコバエ類 2,000倍)	前日	3回	10日以上	
クハネコバエ類 トマトヒゲダニ	ダニトロンフロアブル	1,000~2,000倍 (トマトヒゲダニ1,000倍)	収穫開始 14日前まで	3回	1日	

育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※下記粒剤は時期によって使用方法が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。

灌注剤	育苗期後半 ~定植当日	ベリマークSC 薬量25ml/400株 (マルハナチ影響日数1日) 水量10~20L/400株	※定植3~5日前 処理がオススメです！
	粒剤	育苗期 または 定植時	アルバリン粒剤 1~2g/株 (セイウオオマルハナチ：10日 クハマルハナチ：22日)
			ベストガード粒剤 1~2g/株 (マルハナチ影響日数30日以上)

粒剤施用例

育苗期 株元処理

定植時 植穴土壌混和

高温対策に！

すずみどり

香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上

効果の持続は約1か月
ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10~20錠

コナジラミに困ったら！

ホリバー

イエロー

300~400枚/10aを作物の10~30cm上に吊り下げる

- ▶ 高い誘因効果と強い粘着力
- ▶ 害虫だけが好む色を採用
- ▶ W型のスリットで設置が簡単！

光合成能力UP!

ファイトオーツ

1,000倍 葉面散布

植物本来の力を活性化☆

- ▶ 転流量増加 (糖度アップ)
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 抵抗性誘導物質の向上

肥料登録 生第83241号